

東林館高等学校 通信教育実施計画

| 科目名(単位数)      |  | 言語文化(2)  |         |       |      |
|---------------|--|--|---------|-------|------|
| 対象年次          |  | 期別   | 必要面接時数  | レポート数 |      |
| 原則1年次         |  | 通年   | 2       | 6     |      |
| 科目の概要         | 上代から近現代まで受け継がれてきた、我が国の言語文化への理解を深めるための科目である。  |  |         |       |      |
| 科目の目標         | <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。<br/>                     (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。<br/>                     (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p> |  |         |       |      |
| 年間学習計画・学習のねらい | 学習内容   | 到達目標   | スクーリング回 | レポート回 | 試験範囲 |
|               | 随筆   | ・筆者の経験と分析について理解する。<br>・引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。                              | 1       | 1     | 前期   |
|               | 詩歌   | ・短歌・俳句・詩それぞれの特徴と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。   |         | 2     |      |
|               | 小説3  | ・登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。   | 3       |       |      |
|               | 古文入門   | ・それぞれの文章の、リズムや調子の違いを感じ取る。<br>・歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。<br>・文語の品詞、活用について理解する。          |         | 2     |      |
|               | 随筆<br>詩歌<br>物語   | ・古文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古文特有の表現などについて理解している。<br>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 | 4       |       |      |
|               | 漢文入門   | ・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。<br>・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。                    | 5       |       |      |
| 漢詩<br>論語      | ・漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、漢文特有の表現などについて理解している。<br>・孔子の学問・人間・政治に対する考え方を知り、ものの見方や考え方を豊かにする。<br>・漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。   | 6  |         |       |      |
| 評価方法          | <p>年度末の成績評価は下記の通り行う。<br/>                     レポート:50% スクーリング:15% 試験:35%<br/>                     レポート:教科書や学習書を活用し、取り組むこと。<br/>                     スクーリング:年間計画に従い、各自で予習・復習に取り組むこと。<br/>                     試験の得点:追試験の得点は、定期試験の得点と同等には扱わない。</p>   |  |         |       |      |
| 単位の修得         | <p>①レポート:締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。<br/>                     ②スクーリング:年間2時間出席すること。<br/>                     ③試験:前期試験、後期試験を受けること。</p>  |  |         |       |      |
| 使用教科書等        | 新編 言語文化(東京書籍)<br>新編 言語文化 学習書(NHK出版)  |  |         |       |      |
| 学習上の留意点       | スクーリングの進行にあわせて復習をし、レポートに取り組みましょう。  |  |         |       |      |